



「病院と地域を横断して働く新人看護師の教育プログラム」の導入と評価

看護学科

渡邊 千登世 教授

【研究分野】 看護管理学、看護教育学、教育プログラム、地域包括ケア

【キーワード】 看護師のキャリア、新人看護師教育プログラム、訪問看護ステーション

【URL】 https://researchmap.jp/chitose_watanabe

研究概要

地域包括ケアシステムにおいて、在宅ケアを提供する訪問看護師の役割は非常に重要ですが、訪問看護ステーション（以下ST）の人材不足は深刻な問題です。この問題に対処するため、新人看護師が卒業後早期から訪問看護の必要なスキルを身につけられる教育プログラムが求められています。この背景から、大学、大学病院、STの3つの機関が協力して、新人看護師が大学病院と地域の両方で効果的に働くことができる「大学病院と地域を横断して働く新人看護師教育プログラム」を開発しました。このプログラムを大学病院とSTで実施し、その有効性を評価する研究を行っています。プログラムの評価と改善を通じて、より多くの質の高い訪問看護師を育成すること、急性期の医療から在宅ケアへのスムーズな移行を支援する実践の促進、看護師のキャリアの発展、そして訪問看護師の人材不足の解消に寄与することを目指しています。

研究紹介

・プログラムの開発

神奈川県立保健福祉大学、聖マリアンナ医科大学病院、そして神奈川県内のSTと共同で開発しました。

・プログラムの構成

3年間のプログラム構成であり、新人看護師が病院と訪問看護ステーションの両方で勤務しながら、それぞれの研修場所で設定された目標が達成できるよう支援を提供します。現在、1年目が終了し、プログラムの有効性を評価している段階です。

研修場所	プログラムの目的	1年目	2年目	3年目
	クリニカルラダー	レベルⅠ		レベルⅡ
	1年目～3年目の目標	1年目目標	2年目目標	3年目目標
大学病院	3年間で達成すべき目標 項目22項目	4月5月・・・3月 項目ごとの達成期日	4月5月・・・3月	4月5月・・・3月
訪問看護ST	3年間で達成すべき目標 項目20項目（基本的能力と 専門的能力）			
内研修	院内研修・Eラーニング・ キャリア育成面接等	■■■■	■■■■	■■■■
割勤務	病院と訪問看護STでの勤務 割合	病院4日/訪問看護ST1日 等	常勤所属3日/非常勤所属2日	

図1. 「病院と地域を横断して働く新人看護師の教育プログラム」の構成

講座テーマ紹介

- ・「病院と地域を横断して働く新人看護師の教育プログラム」とは
- ・「病院と地域を横断して働く新人看護師の教育プログラム」導入の実際
- ・「病院と地域を横断して働く新人看護師の教育プログラム」の有効性

アピールポイントなど

・教育プログラムは、将来訪問看護師を目指す新人看護師が早期から地域で活躍できるよう設計されています。しかし、このプログラムの影響はそれだけに留まらず、訪問看護での生活モデルに基づくケアの知識を習得した看護師が急性期病院で働く際にもその知識を活かし、結果としてスムーズな地域連携へとつながることが期待されています。

・教育プログラムは、神奈川県内の地域モデルとして開発されました。その有効性を踏まえ、さらなる普及を図ることを目指しています。埼玉県内の病院と訪問看護ステーションにおいてもプログラム実施の実現に期待しています。関心を持つ機関からのお問い合わせを歓迎します。